

令和4年7月14日

鉄道建設・運輸施設整備支援機構
理事長 河内 隆 殿

鉄道助成業務の審査等に関する第三者委員会
委員長 杉山 雅洋

鉄道助成業務に関する改善意見

これまで提言してきた改善意見について、令和3年度も適正に遂行されていると評価している。鉄道助成業務のさらなる充実・強化のため、下記の意見を提出するので、着実に実施されたい。

記

鉄道助成業務でのITの活用による効率化の一層の推進

鉄道助成業務においては、遂行方法の効率化を図り、より効率的な補助金の審査業務を実施するため、近年のデジタル機器の普及に伴いこれを可能な限り活用すべく、補助金の審査業務（事後審査等）でも対面方式を前提としつつも、WEB方式を併用するハイブリッド型をより一層活用されたい。その際、業務遂行方法に関する新たな技術開発については、効果を見極めたうえで鋭意対応されたい。